

# 伯國西爾時報

NOTICIAS DO BRASIL  
Publicado semanalmente  
Rua Fagundes, 18  
Caixa, H. Tel. Cent. 3695  
S. Paulo, Brazil  
Proprietário e Editor  
Seisaku Kuroishi  
Assinatura  
Por Anno 255000  
Semestre 185000  
Mez 252000  
Semana 5000

## 天長節祝日を 迎ふるに當り

今日は十月三十一日、言ふまでもなく、吾々に取り記念最も深き處の天長節祝日である。而かも此の祝日を迎ふるに當り吾々の想起す事は、我が國體の魔じさであり、我が民族の使命の大なる事である。然らば我が國體は、世界諸國のそれに比して、何う云ふ處が優つてゐるかといへば、世界の諸國は屢々革命を経て王統を更へたるに反し、我が國は天祖の開き給へる所、國基は萬古に亘り、君は日神の統を繼ぎ給ひ、國は神代の道を守り、君臣の自分から定まりて皆て違ふことなきの點である。然るに民族の使命に就ては、猶大人の地上に神の王國を建てんとして努力し、希臘人の文藝學積み、英人の商權の掌握に任じ佛人の自由、感情を世界に布かんとし、獨人の科學萬能を實現せんとし、米人の自主、獨立の發達を計らんとし、各々其の信する方面に向つて、世界の文明に少なからず寄與貢献するに反する事、何等寄與する處なきは、能力の缺欠か又は天の與ふる使命を自覺せざるが爲めか、兎に角之に關しては吾人は大に内省するの要がある。

斯く云ふと、世界的文化——今この言葉で云へば世界的文化——とは如何なるものかと云ふ事から説明して持らねばならぬが、言に之を約すれば、世界的文化——とは「世界人智累積の結果」とも云ふべきで、何れの民族も之にして此の外的方面の民族的創作ある、蟲にはアラカルに於いては常に組

は絶へず相應の寄與を爲しつゝあることを疑ふべきではないが、

特に別種の活動に依り世界の文

化を鼓舞し、諸民族注意の焦點

に一大技巧を加へ、我が國東西

の接合の新文化を世界に布くを任

務せねばならぬが、然らば其



茅屋閣談 (5)

通天老農

經濟制度改革の論議

前回に於て私は現社會の經濟制度が、社會的無統一、無計畫の亂脈なるものであつて、此社會制度の中に生活するものが、戰時狀態のやうな苦しい中で、

四圍の壓迫の下に、喘ぎく出

来るだけの安定を得んと、慘憺

たる苦心を續けて居る様を説い

た。怠る狀態の今流行の言葉で

いへば、所謂生存競争の激甚は

來ると共に加はるばかりで、或る

年最も大なる改革は、千九百十

年に至つたものは、殆どないほ

ども彼等の試みた改革が、餘り

に性急であつた爲めに、種々の

障礙が百出しおよびに、その

改革はまだ完成したとは云へ

のである。

是に於て世界の改革者は、此

變革以前から繼續した意見、若

いづつていい程であつた。其中

の最も大なる改革は、千九百十

年に至つたものは、殆どないほ

ども彼等の試みた改革が、餘り

に性急であつた爲めに、種々の

障礙が百出しおよびに、その

改革はまだ完成したとは云へ

のである。

いのは氣候や

ブランジルにも

鮭が居る

肉の白いは氣候の爲

ドウラードはそれ

伯國にも鮭があると云ふ耳寄り

多年淡水産の魚で當國

人の家庭の

食膳に珍重されてゐるべ

アルマンド・ビーナ氏は、該魚

は鮭であると云ふ事を發表し、

伯國の一大富源であると云つ

ふるに、廣義の社會主義的組織

を以てしやうとするものである

海外へ輸出も出来やうと

不景氣の世相

奥地の物騒

一人歩きは危険

新開の所謂日本人植民地

最近ソロカバナ線奥地から來た

人の話——大きな珈琲園の隣合

てゐるやうな地方は別だが

くゆくは

雲はれてゐる

カーザ東京

家具商 杉本芳之助

リオ市 テオフィロ、オトニ街八五

聖市 ブリガデイロ、トビアス街一一〇

防迫健造

電話セントラル五八一九

秋田 兼二郎

電話セントラル四五五九

中山 忠太郎

電話セントラル四一〇二

仲村 渠三郎

電話セントラル四一七六

廣末 旭大

電話セントラル四一七六

地 上 館 東京

電話セントラル四一七六

小川 源右衛門

電話セントラル四一七六

藏彌

電話セントラル四一七六

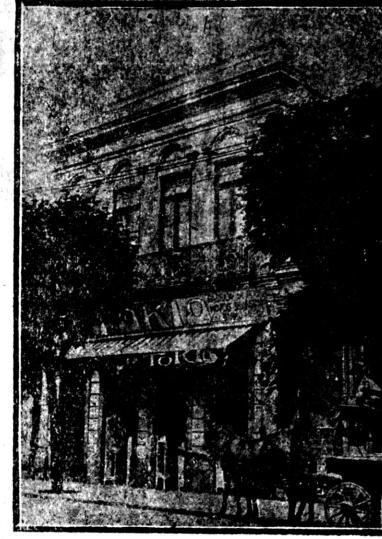
節長天祝奉

所次取符切定指社會船商阪大

小川正雄

日本品輸入商

奉祝天長節



Rua B. de Itapetininga, 20 S. Paulo

奉祝天長節

蜂谷兄弟商會

リオ市 テオフィロ、オトニ街八五

聖市 ブリガデイロ、トビアス街一一〇

防迫健造

電話セントラル五八一九

秋田 兼二郎

電話セントラル四五五九

中山 忠太郎

電話セントラル四一〇二

仲村 渠三郎

電話セントラル四一七六

廣末 旭大

電話セントラル四一七六

地 上 館 東京

電話セントラル四一七六

小川 源右衛門

電話セントラル四一七六

藏彌

電話セントラル四一七六

節長天祝奉

所次取符切定指社會船商阪大

小川正雄

日本品輸入商

餌の關

係であると云つて

ある。尙ほ該魚に就いて同氏の

研究に依れば、產卵量は親魚の

ボトキン等の説いた無政府共產

主義、或は集產主義や、クロ

ボトキン等の説いた無政府共產

國流の労働組合主義や其他いろ

が、之を細分すれば、マルクス

エンゲルス等の首唱した社會民

主義、或は集產主義や、クロ

ボトキン等の説いた無政府共產

主義や、サンヂカリズムや、英

## 人口問題と植民 (二)

農學博士 東郷 實

我が人口増加。人口が殖えた、食糧が足らぬ、移植民が必要だ。こんな様な議論が、日本でも大分盛んになつて來た。私も少しばかり、此問題を論議して見ることにする。昨大正十四年十月一日舉行の第二回國勢調査の結果に依れば、既に六千萬人に達してゐる。即ち世界有数の國である。斯の如く我國は既に人口過剩の現状に在るに係らず、その人口増加は極めて迅速である。即ち最近五ヶ年間に於ける、我國の人口増加は、三百七十五萬人で、實に一年平均七十五萬人の増加である。故に我國の人口増加率は、これ亦世界に於て高位を占むるの現況である。

然るに我國の食糧生産は、今日ノロカ浦密であり、且つその増加率が大なりと云つても、人口の増加に伴ひ、食糧の増産が出来るに於ては何等問題はない。即ち我國の必要實狀に在る。即ち我國民の必要とする食糧の全部を生産すべく缺如してゐる。之を昨大正十四年の統計に於て見るに、米が一億二千萬圓、小麥が七千萬圓、豆類が同じく七千萬圓、此三つの主要食糧品大體も合計二億六千萬圓の輸入額となつてゐる。恰もそれは同様に於ける輸入超過額に匹敵する程の巨額である。茲に於てか議せらるゝことになつた。

新しくて古い問題、然し之等の諸問題は、之を世界的においても、又之を我國のみに於て考へても、實は「新しくし

農業生産の基礎たるべき土地には限りがある。そこで人口對土地、人口對食糧の比例が權衡を失するに至り、初めて移植民の問題が起つて来る。故に人口問題、食糧問題及移植民問題等はその無意識的たる事、意識的の問題を問はず、人類の原始時代に日に及んで來たと云ふに過ぎない。

植民事業の主體即ち人口對食糧の比例が不平均に陥り、内國に於ける食糧の自給が困難を感するに至り、始めて移植民の運動を起すことになつたのが、植民政策の初まりである。

夫の創世紀の中にアブラハムがロットの地を去つた時の理由を説明して、「吾々の要求すべき物資が段々殖えた爲めに、此土地では之れ以上供給は出來ない。従つて吾々は之れ以上共同の生活を繼續することが出來ない状態になつた」と云つてゐるのも要するに人口の増加に食糧の生産が伴ひ得ないから、新しく未開の植民地に移住し、農業を起し、食糧の生産を潤澤にすると云ふ意味に外ならぬ。

## 節長天祝奉

渡邊藤作  
中山伴一郎  
伊東商店  
輸入商  
石村洋服洗濯所  
奉祝天長節

カーザ 東郷  
サンパウロ市  
リニス市公園前  
郵函 一七八番

御旅館常盤  
奉祝天長節  
館主 石原桂造  
奉祝天長節

サンパウロ市  
北村政吉  
サンパウロ州ボッカツー市  
郵函 四

CASA HIROSHIMA  
Rua Consolação, 300 São Paulo

支店  
中尾京之助  
カーザ廣島  
聖市コンソラソン街三〇〇  
Largo do Arouche, 63

## 節長天祝奉

上村旅館  
石村洋服洗濯所  
奉祝天長節  
サンパウロ市  
リニス市公園前  
郵函 一七八番

中矢商店  
奉祝天長節  
サンパウロ市  
コンデデサルゼーダス一三  
郵函 四

平原の十字星 (8)  
 ラ・カロム・レーベル  
 佐藤 生  
 漢出が無我無中、牧場から脱し、ゾーマの名も死んだ。今は迄て家の傍に來た時は近所の人々が一生懸命消火に務めてゐた、町に行つた精次も驚愕して馬を飛ばして戻つて來た。  
 「澄男さんは無事です」漢田は苦しくてこれ以上云ふ事は出來なかつた。  
 「お、澄男……父は無中になつて半死半生の澄男を抱き上げた、精次はこの様を見て二度驚愕した、火は人々の手に依つて、精次はこの様を見て二度驚愕した、火は人々の手に依つて、大分沈火してゐた、二三人の人が其處にやつて來た、人々は皆勇敢な漢田の行爲に感嘆した、漢田を促しても彼は「いいえ大股の腕からは鮮血がほとばしり出てシャツを赤く染めてゐた。田の腕からは鮮血がほとばしりて、彼は心の中で聖書に記されてあるグヘナの火を想起して是が父をして醒めしめたかと思ふと心から喜びます」  
 「そうですか、物質は努力に依つて又得る可機があります」  
 漢田も心から懶快を感じた。  
 「貴い人命を救ひ得たと思ふ時は見た、又あの物凄い火を想ひ起しては戰慄せざるを得なかつた。  
 それから二三日後の夜、三人は家の裏手の小高い丘に上つてゐた其處からは月光に照されてゐる廣い平原を望む事が出来る。  
 「僕は病氣が癒つてこんな嬉しい事は無い、若し漢田君が居らなかつたら或は死んで居つたかも知れぬ」松川は衷心から漢田に感謝を捧げた。  
 「僕とても同一です、父を精神的に感化して下さつたのは皆漢田さんであります」  
 「僕は今年に今度程愉快を感じた事は有りません、今後は共に助け合つて奮闘しませう」  
 彼等の語る處には一言一句歎びが溢れてゐた。  
 漢田は持つて居たアイオリンを彈き始めた、松川と精次は共に唱うのであつた、それは讃美歌のホールムスウイートホールムであった。  
 頭上には十字星が煌いてゐた。  
 朝の前途を祝福するかの如く彼等の前途を祝福するかの如くに完(二〇六、一九天稿)

## 節長天祝奉

富士山醤油釀造元

藤澤豊次郎

ノロエステ線ベンナ駅  
平野殖民地内

奉祝天長節  
日伯歯科醫院  
村上真市郎

聖市ボニータ街九番二階

本店  
支店  
サンバウロ市コンセレイロ・フルタード街一二番  
デ・カルバリオ街三八番

瀬木商店

聖市コンデデサルゼーダス街二三

奉祝天長節

奉祝天長節  
寫眞師 高山運平

聖市コンデデサルゼーダス街  
グイーラ・スイサ二十三

奉祝天長節  
遠藤商店

聖市コンデデサルゼーダス街二三

## 節長天祝奉

家具商 カーザ日本  
本道五郎八  
緒方末彦

本店  
支店  
ブリガデイロ・ルイス  
アントニオ通七八  
サンタ・エフセニア街八四F  
電話セントラル二〇三八五

奉祝天長節  
日本貿易商會

本店  
支店  
リオ市アルファンデガ街二二三番階上  
聖市キンチーノ・ボカニー・パ街八〇

奉祝天長節  
坂井商店

## 節長天祝奉

王女の油醤  
花の露印  
太田吉太郎

聖市郵函二〇〇七番  
太田吉太郎

## 節長天祝奉

洋服洗濯  
染物一切

横溝染工場  
聖市コンデデサルゼーダス五五  
電話セントラル六二八九

奉祝天長節  
本店  
支店  
聖市アフォンソ・ベンナ街二三  
電話シダーデ七九二三番

奉祝天長節  
坂井商店

バタチニア仲買  
食料品一切販賣

聖市郵函二〇〇七番





